

令和6年度 第1回気仙沼まちなかエリア推進会議 議事録	
日時	令和6年8月26日(月) 13:00~15:00
場所	本庁舎3階1~3会議室
出席者 ■出席 □欠席	<p>【推進会議委員】</p> <p>■菅原(茂)委員長 ■佐々木(一)委員 ■島田委員 ■高橋委員 ■菅原(昭)委員 ■田村委員 ■勝倉委員 □斉藤委員 ■北原委員 ■佐々木(真)委員 ■小野寺委員</p> <p>【デザイン会議からの出席者(敬称略)】</p> <p>■泉(プロジェクトマネジメント) ■小山(現地コーディネーター) ■志田(情報発信) ■尾崎(事務局)</p> <p>【三日町八日町庁舎跡地検討WGからの出席者(敬称略)】</p> <p>廣野一誠(座長)</p> <p>【事務局】</p> <p>■佐藤都市計画課長, 菅原課長補佐兼都市計画係長, 齋藤主査</p>
配布資料	<p>資料1-1 今年度の推進体制について</p> <p>【資料1-2 2024デザイン会議委員名簿】</p> <p>【資料2 各プロジェクトの進捗状況について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別添資料「2024.8.24 神明崎管弦窟ツアー ・まちなかエリア通信 VOL.4 <p>【資料3 市役所跡地今年度スケジュールについて】</p> <p>【資料4 内湾周辺ネーミングについて】</p>
<p>【議事】</p> <p>(1) 今年度の推進体制について【報告】</p> <p>(2) 各プロジェクトの進捗状況について【報告】</p> <p>(3) 市役所跡地今年度スケジュールについて【報告】</p> <p>(4) 内湾周辺ネーミングについて【協議】</p> <p>(1) から (3) の内容について報告とともに, (4) 協議事項についても事務局案のとおり承認された。</p>	
議事内容	
<p>【質疑・今後の対応(→)】</p> <p>(1) 今年度の推進体制について【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に無し <p>(2) 各プロジェクトの進捗状況について【報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菅原(昭)委員: 海に見える道のダンダンベンチを含む整備について, 予算が足りないとの噂があるがいかがか。しっかりとした整備を行えば人は集まるので早急に進めて欲しい。 <p>→都市計画課長: 事業を進めて行く中で, 整備費と予算額に乖離があることが分かってきた。今後は地元と修正案について詰めながら早急に進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菅原委員長: フォトスポットについて, 内湾まち協の立場では「阿部先生にも確認してOKならば」との条件付きで了承したつもりだったが, 阿部先生からは「個人的には賛成していないこと, 設置場所は港町エリアを含めて検討した 	

方がよい」との意見を確認した。再度調整が必要ではないのか。

→都市計画課長：デザイン会議の中で阿部先生に確認した際には、デザイン会議としても進めたいのであれば、賛成はしないが反対もしないとの見解でした、今後は改めて、デザイン会議、阿部先生を含めて再度調整します。

(3) 市役所跡地今年度スケジュールについて【報告】

・菅原（昭）委員：市役所跡地の活用にあたり、ハード整備の負担については市の責任として捉えているのか。ローカルデベロッパーが成り立つような進め方を検討して欲しい。

→都市計画課長：ワン・テン庁舎をそもそも使うための改修工事や、テナントへ貸すためのA工事など、費用負担区分も含めて検討している最中です。

→市長：市の建物なので、最終責任は市が持つものとして認識していますので、どのような形態になるかは何時かの時点で判断しなくてはならない。議会からは子供の屋内外の遊び場として提案を受けていますし、それらも含めながら、工事の手法として民間側で担ってもらう事により安価で実施できることも勉強しているので、いずれ市の負担になることも想定しながら進めています。

(4) 内湾周辺ネーミングについて【協議】

・勝倉委員：「風待ち広場」については、カザマチとは読まないのではないか、「ないわん広場」のように平仮名としてはどうか。

・菅原委員長：昔からこの周辺において「かざまち」という言葉は使っていないし認識していない。逆に平仮名にすると意味が分からなくなるので、漢字の表記が良いのではないか、ただし、「カザマチ」と読み仮名をふってはどうか。

また、神明崎の公園や神社について、サインが無いから分からない人が多いので、風待ち広場も含めてしっかりと認識できるように設置するべき。

→結論：表記は「風待ち広場」として、フリガナ（ローマ字）を「カザマチヒロバ」として愛称とし、サインの設置について検討する。